

# 令和2年度 学校経営方針

東通学園校訓 「日進」「感謝」

教育目標： 知性を磨き、豊かな心を育み  
自主自立を目指す生徒の育成

努力目標：  
・進んで学習し、課題解決できる生徒  
・互いに思いやり、明るく生活できる生徒  
・心身を鍛え、ねばり強く取り組むことができる生徒

東通村教育委員会指導の重点：

- 保幼小中一貫教育の推進  
→ひとづくりのための学力の充実
- 英語教育・国際理解教育の推進  
→実践的コミュニケーション能力の育成
- 東通科の推進  
→自立した社会創造の担い手の育成

目指す生徒像：「言える、動ける、響き合う」生徒

上記を踏まえた本校の教育課題

## 《教育課題》

【学力の向上】指標：「県学習状況調査で校内平均6割以上並びに、  
全国学テで県平均到達」

(県学習状況調査、全国学テ共に令和2年度未実施)

H30の状況《県学テは数英で県・下北平均を上回る。他教科・合計は下回るが、本校内比較では合計が5年間で最高。全国学テは、各教科・合計ともに県平均を下回る》

R1の状況《県学テは国社理英で県・下北平均を上回る。数学はわずか0.2ポイント下回る。本校内比較では合計が開校(H20)以来の中で最高値。全国学テは、各教科・合計ともに県平均を下回る》

【不登校による長期欠席者0】指標：「新規者0、令和元年度からの継続者7人(2年3, 3年4)の登校日数増及び不登校の解消」

「魅力ある学校」づくりによる解決

## 《魅力ある学校》

### 1.わかる授業の実践

☆学習状況調査の分析をとおした授業改善（習得する場面と活用する場面の設定の工夫）

☆家庭学習習慣の定着

### 2.生徒が主体となる活動の充実

☆委員会活動の活性化

☆生徒集会（合唱活動を含む）の定例実施

### 3.生徒への愛情と誠意あふれる職員の存在

☆生徒の人格の尊重

☆生徒理解に基づいた指導の実践

- ・ 職員の創意工夫を生かした組織的な学校運営
- ・ 職員個々の資質向上

### 研修の充実

- ・ 県学セ講座の「一人一講座」受講等
- ・ OJT(生徒指導主事と学担部会等)

## (H式)PDCA×3による取組の改善

- ア 学校が楽しい
- イ みんなで何かするのは楽しい
- ウ 授業に主体的に取り組んでいる
- エ 授業が良くわかる

### 1 小中連携

→連携自体を目的とせず、教育課題を解決するための連携を意図する。

### 2 授業

→話し合いや学び合い等をとおして自らの考えを広げる対話的な学びを工夫する。

### 3 道徳

→全体計画を整備し、問題解決的な学習や道徳的行動に関する体験的な学習等多様な方法を取り入れる。

### 4 特別活動

→生徒会を中心とした自発的、自治的な活動を計画的・継続的に行う。

### 5 総合的な学習の時間

→探究的な学習に主体的・協働的に取り組ませる。

### 6 体育、健康教育

眠育や食育の全体指導と共に、ヘルスプロモーションの視点による個に応じた健康指導を推進する。

### 7 生徒指導

→生活アンケート（月に1回）の実施をとおして、生徒の悩みや不安の把握及びいじめの発見等を行い、教育相談等の早期対応をする。

### 8 特別支援教育

→校内委員会を組織的、計画的、弾力的に実施し、全教職員による支援体制の充実に努める。